

# カウンスル No.8

## 危機管理に関するガイドライン

今年、日本各地で未曾有という災害が相次いで発生しました。いつ、どこで何が起きてもおかしくない不安な状況となっています。災害時におけるカウンスル会合開催の有無について、段階別に分けて危機管理に関するガイドラインを提示いたします。自分の命を守る行動を日ごろから考えていてください。

### 1. 前もって準備しておくこと

- ①各クラブ内で緊急電話連絡網または LINE グループ等を作成しておく。
- ②会合会場（今期は島根イン青山）の非常口、避難ルート等を確認しておく。  
緑色の非常口表示の下に非常階段あり。
- ③避難場所、一時滞在施設を確認しておく。  
東京ウィメンズプラザ及び広尾高校  
参考資料：東京防災（書店で¥140 で販売、  
HP:[www.bousai.metro.tokyo.jp](http://www.bousai.metro.tokyo.jp))  
防災ハンドブック、帰宅支援マップ、Google Map 等



### 2. 災害に関する情報の入手方法

- ①通電時：テレビ・ラジオ放送、防災行政無線、気象庁 HP(<http://www.jma.go.jp>)  
JR 東日本、Yahoo Japan 等の鉄道運行状況
- ②停電時：ラジオ放送

### 3. 会合開催の判断の決定と連絡（電源が確保されている場合）

気象状況によっては、台風の進路などが分かった時点で開催の有無の判断をする。

（地域によって避難開始が発令されていなくても、身の危険を感じる時、夜間に大雨が予想される時、震度5弱以上の地震が発生した時、噴火警戒レベル3以上の発表による時、その他の災害が起きた時は、自分で適切な判断をして会合に出席することを取り止めてください。）

- ①会長と第一副会長が相談し判断するが、最終的には会合前日の 18:00までに開催の有無を決定する。
- ②会長より各クラブ会長に連絡する。（自宅固定電話、携帯、Eメールの順）
- ③ゲストへの連絡は、クラブ紹介者から本人に連絡をする。

### 4. 会合に向かっている最中に、急な災害が発生した場合

- ①会合に向かうことを止め、身の安全を確保する。

### 5. 会合中、地震等急な災害が発生した場合

- ①窓のそばから離れ、机の下、カバン等で頭を守り、落下物に注意する。
- ②揺れが収まったら、ドアを開け避難ルートを確認する。
- ③施設の指示等を含め状況、安全を確認する。

### 6. 帰宅困難時

無理に帰宅せず、会場（島根イン青山）に留まる。不可能なら近辺の一時滞在施設、災害時帰宅支援ステーションに留まる。